

成功させよう 2012ぎふ清流国体ぎふ清流大会 “いびがわミナモ通信”

カヌー競技を紹介!

～リハーサル大会を開催します～

10月29日(土)～30日(日)、来年のぎふ清流国体カヌー競技のリハーサル大会として、「中部カヌースラローム・ワイルドウォーター選手権大会」を開催します。

そこで、ぎふ清流国体カヌー競技の種目を紹介します。

カヌーワイルドウォーター競技

1,500メートル以下の距離で行われます。流れの激しい川を一気に漕ぎ下る競技で、1回の練習に続き、1回のタイムトライアルで順位を決定します。

数々の自然の関門を相手に漕ぐには、いかに川の流れをつかみコントロールするかがカギとなります。脱艇(転覆して艇から落ちること)やコースアウトなどをしないで、いかに早く漕ぎ下れるかが勝負のポイントです。

カヌースラローム競技

この種目は、2本のポールで構成されたゲートを川に配置し、スタート地点から番号順に通過してタイムを競う競技です。ただ、上流から下流へゲートを通過するだけでなく、下流から上流へ通過するゲートもあり、持久力やパワー、バランスが要求されます。

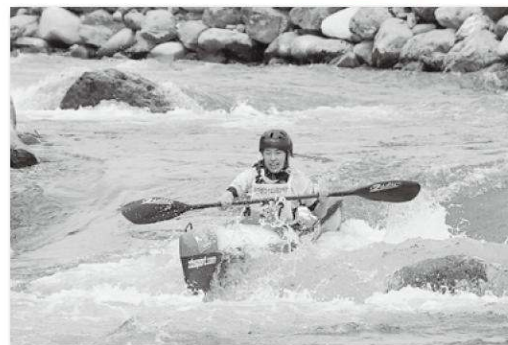
また、急流で行うため難易度が高く、ゲートに触れると2ポイント、不通過の場合は50ポイントのペナルティが加算されます。

以上、簡単に説明しましたが、カヌーの魅力は、自然と一体化した中で川の流れを読み、自由自在に艇を操ることができる点にあります。また、目の前で見る競技は迫力満点で、見ごたえがあります。

皆さんもぜひ会場で、カヌーの魅力を感じてください。



リハーサル大会の詳細は裏表紙をご覧ください



▲カヌーワイルドウォーター競技の様子
(東海ブロック大会第1位の岐阜県代表 はたよし 畑良枝選手)



▲カヌースラローム競技の様子
(東海ブロック大会第1位の岐阜県代表 かいふちもえ 海淵萌選手)

実業団女子ソフトボール招待試合が開催されました

8月27日(土)、揖斐川健康広場で、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会1年前イベントとして「実業団女子ソフトボール招待試合」が開催されました。

会場では、デンソー、ドリームワールド、大垣ミナモソフトボールクラブの3チームが熱戦を繰り広げ、ハイレベルなプレーで訪れた観客を魅了しました。

試合後には、実業団選手による技術講習会が行なわれ、集まった約150人の小中学生が真剣な表情で指導を受けていました。

揖斐川町では、来年3月にソフトボール競技のリハーサル大会として「全国高等学校女子ソフトボール選抜大会」を開催します。招待試合前には、大会に出場する東北3県(岩手・宮城・福島)の被災地にあるソフトボール部に、それぞれ5ダースのボールを送るため、被災地支援を行なっている大垣ミナモソフトボールクラブに宗宮町長より支援球が託されました。

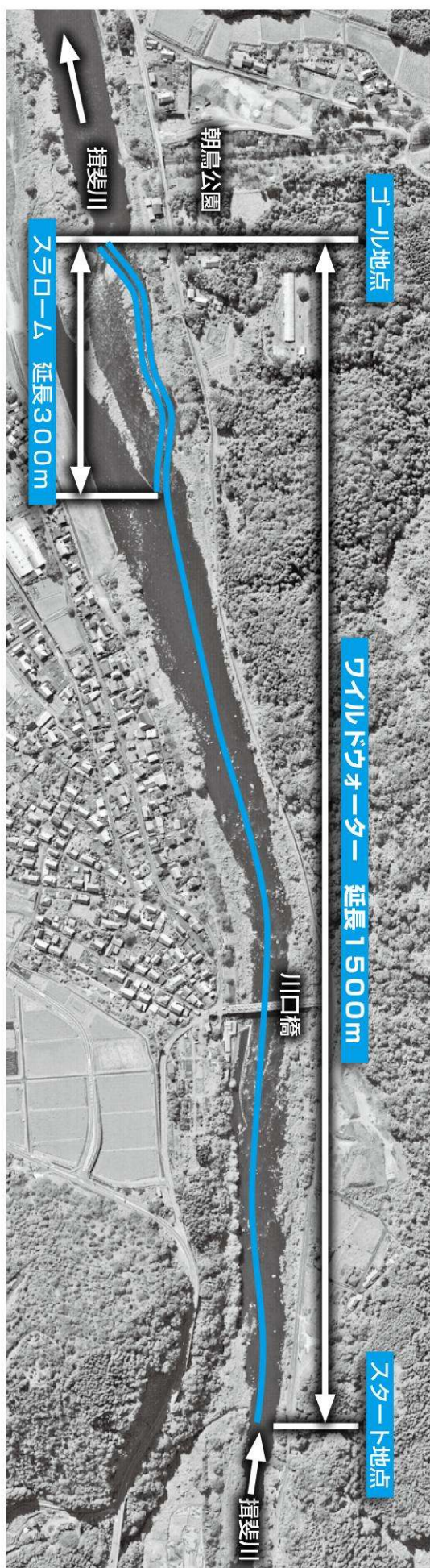


▲技術講習会の様子

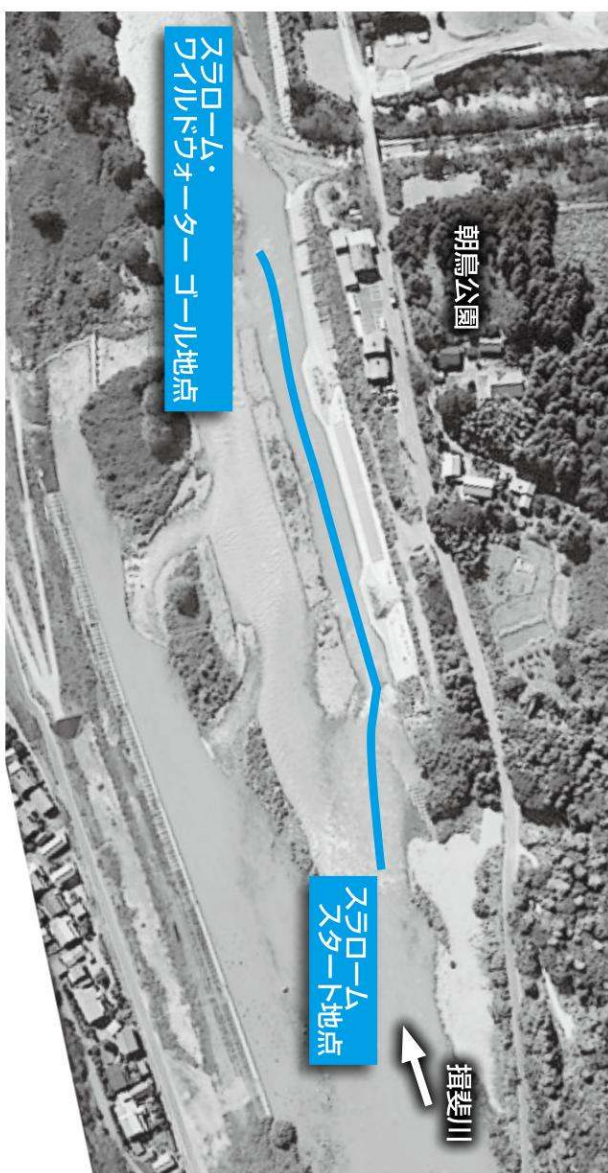


▲宗宮町長より大垣ミナモ SC に支援球が託されました

カヌー競技 コース全景



スラロームコース、ゴール地点 拡大



スラロームコース写真（下流より望む）

